

6 インターネットとパソコンを接続しての利用

一般社会と同様、大学生活でもインターネットとパソコンはすでに不可分の関係にあります。

Web の利用

豊富なサイトで さまざまな検索ができる

- インターネットが爆発的に普及した背景には、Web サイトの存在が大きいのは言うまでもありません。大学生活でも Web サイトはさまざまな用途で用いられています。

① 情報検索

- レポートを作成したり講義やゼミで与えられた課題を解決するために、さまざまな Web サイトの資料や情報を検索して参考にすることは、今やごく当たり前のように行われています。現在では膨大な量の情報がインターネット上に掲載されています。とくに官公庁や研究機関等、あるいは公的な機関や新聞社が掲載しているデータ等は、かつては白書として出版されていたようなものまで、そのままオンラインに掲載されています。また、インターネットの情報は、内容の新しさという観点でも最新の情報が常に更新されている点で優れています。
- しかし、より問題を深く追求するには、まだまだ図書や雑誌記事、論文としてこれまでの長い活字文化の歴史の中で蓄積されてきた膨大な知識情報とは比較になりません。インターネット上にあるものが皆さんの調べたい問題に関する資料のすべてではないこと、むしろ調べたい事柄を探す糸口の一つでしかないということを理解しておきましょう。

② 図書検索、新聞記事検索

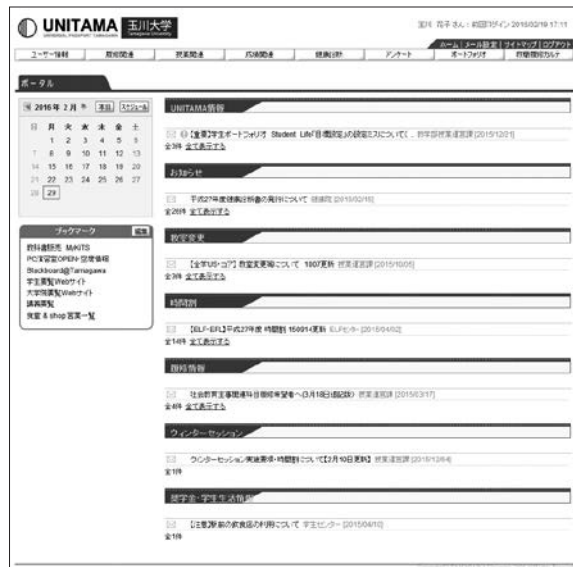
- 現在ではどの大学の図書館もその蔵書目録が電子化されていて、自分の閲覧したい図書を探し出すのはパソコン端末から行うのが普通ですし、それを Web から行うことができます。同様に国会図書館や公立の図書館、他大学の図書館の蔵書や資料も Web から検索ができ、必要ならばそれを借りる手続きをすることもできるようになっています。
- 新聞記事については、いずれの新聞社も最近 1～3 か月までの記事であれば、社説・特集記事等を含め Web から無料で検索し読むことが可能です。ただし、それ以前の記事も含む本格的な利用については有料

サービスに加入する必要があります。学生個人がこうした有料サービスを利用するのは負担が大きいため、本学をはじめ多くの大学図書館がいくつもの有料サービスに加入しており、図書館のパソコンや学内 LAN からの利用であれば、新聞記事を含む各種のデータベースを利用することができるように新聞社やデータベース会社と契約を結んでいます。

③ 大学生活の窓口として

- 本学では、学生サポートの窓口となって掲示板（連絡事項、休講通知、行事予定等）、シラバス、履修登録、成績照会等を行うことができるポータルサイトとして UNITAMA を提供しています。
- 学外からもこのページにアクセスすることで、上記のような大学での情報を見ることや手続きができるようになっていきます。学期ごとの履修登録や教職などの各種資格登録なども UNITAMA を通じて行うようになっていきます。こうした登録・申請は休暇期間中に行われることが多いので、大学から遠距離に住む学生、実家が遠方にある学生にとっては非常に有用なシステムです。

UNITAMA 画面



メールとレポートの提出

キーボードを使うと早く入力ができ
大きなサイズのデータも送付できる

- インターネット上で最も使われるサービスに Web と並んでメールがあげられるでしょう。スマートフォンが普及してきたためそれらのメール機能が手軽によく使われますが、パソコンを使ったメールはそれらにはない多くの機能をもっています。
- 例えばスマートフォンのキーボードからでもかなり速く文章を書くことができますが、パソコンの本格的なキーボードの速さにはかないませんし、はるかに楽に長文の文章を書くことができます。携帯やスマートフォンのメールでも小さなサイズの画像を送ることはできますが、パソコンのメールではかなり大きなサイズのファイルを添付して送ることができます。複数枚の写真画像や画像以外の形式のファイル、例えばワープロや表計算ソフトのファイル、音声ファイル、簡単な動画ファイル、プログラムなども送ることができます。レポートの提出をメールで受け付ける科目担当者も最近が増えていますが、ただし、あまり大きなファイルを添付すると膨大な通信量になってしまいますので、添付できるファイルのサイズには利用しているプロバイダ等で一定の制限がかけられているのが普通です。
- 一方で、携帯やスマートフォンのメールは利用者が確認作業を行わなくても相手側からメールが送られてきますし、どこにいても小さな携帯電話さえ持っていれば使えるという非常に大きなメリットがあります。パソコンのメールは、毎回パソコンを起動しインターネットに接続し、メールの確認作業をしなければなりません。そこで大学によっては携帯でも利用できるメールや Web 等のサービスを増やし、パソコン用のメールと併用して効果的に運用しようという動きも活発です。

オンライン学修支援システム

授業の資料や課題の提示、レポートの回収など
多くの機能があります

- 近年は、以前ではコンピュータが使われなかった一般的な講義科目や演習科目にも Web をベースにしたインターネットの利用が盛んになっています。これを e-learning といいます。
- 最近では多くの大学が、オンライン学修支援システムあるいは e-learning 支援システムとも呼ばれるシステムを導入しています。オンライン学修支援システムとは、Web ブラウザから利用できる大学の講義に関するさまざまな情報やサービスを統合的に管理するシステムで、講義の資料や課題の提示、レポートの回収、小テストの出題・採点、アンケート、掲示板などの機能をもっています。本学では Blackboard@Tamagawa がこれらの機能を実現しています。

